

一般質問

3月10・11・13日の本会議では、延べ21人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。(発言順に掲載)

指定ごみ袋制の導入と資源ごみの回収事業について

高橋佐代子 議員

Q 指定ごみ袋制によるごみ収集について、各校区に向いて説明会を開催されたが、何名ほど出席され、どのような意見等が出されたのか。それをどのように分析し、実施に当たりのようにいかされるのか。
資源ごみの回収事業について、PTAが実施しているこの回収も大変だと聞かすが、今後どのように考えているのか。

A ごみの有料化に関する各校区別説明会は、順次11小学校区において実施し、合計で545名、1カ所当たり50名の参加をいただきました。主な質問、意見は、名前は記入しなくではいけないのか、指定ごみ袋以外で出されたごみの処理はどうするのか、不法投棄、野焼きが増えるのではないか、自治会の用の袋はどうなるのか、ごみ減量機器の補助はまだあるのか、指定ごみ袋の販売店が少ない等のご質問、ご意見がありました。市民にできるだけ負担をかけないように、職員が先頭に立ち事業

の処理に当たっていくとともにも、広報、隣保回覧等を通じ、さらなる周知を行っていきたくと考えています。

PTAの資源回収については、県内において資源集団回収システムを実施しているところは少なく、集団回収した売却益がPTAの活動資金として有効に利用されており、リサイクル面等も含め引き続き実施したいと考えていますが、回収量は年々減少しています。今後とも、地域皆で支えていくシステムづくりが必要と考えています。



道路特定財源問題と市の道路行政について

山下光昭 議員

Q 道路特定財源問題と市の道路行政について、市長としての考えを聞く。また、市内の生活道路の整備について、

市長として加西市の道路をどのように見ておられるのか。その必要性の有無も含めてお尋ねする。私は道路財源は一般財源化すべきではないかという思いもあるが、加西市民の1人として道路のインフラ整備は十分でないという上で特定財源は必要ではないかという思い。市長の一言だけで道路行政を変えるのではなく、市民の合意、理解、市民と一緒に決めていくことが大事ではないか。

A 道路整備は予算の範囲内です。加西市の市道整備は一巡したという認識で、県道、国道については周辺の自治体の整備と比べて加西市は遅れており、どこし整備してもらいたいし、そのための運動もしたいと考えています。加西市道の新規路線よりも既存路線の修繕、補修、維持管理にお金がかかり、こちらを最低限対応していかねばならないと思っています。その中で、どうしても必要だという道路については、将来の市民負担もしっかりと市民に説明、理解してもらった上で市道を整

備するのか、合意形成をしながら臨みたいと思います。

斎場へのアクセス道路について

丸岡弘満 議員

Q 公共料金の値上げでは斎場があつたが、鴨谷町オークタウン側から斎場へつながる道が、現在でこぼこでひどい状態。市役所は市内最大のサービス産業であり、市民を顧客と捉えた顧客満足度志向の観点から考えると値上げをした意味が全くないと考える。斎場へ通ずる道に関して、早急に整備が必要と思うが、市当局の考えを尋ねる。

A 加西市斎場へのアクセス道路は、その路面は防塵舗装に補修を重ねた、非常に傷みの激しい状況です。斎場の外周をまわる形の市道北条殿原線は、片側歩道を有した2車線道路として整備されており、その路線から斎場までの市道鴨谷3号線が幅員を確保するための改良工事はできていますが、路面の舗装がまだ防塵舗装のままです。高級舗装になっていません。現在路面の損傷が特に著しいオークタウン側から斎場への区間